特定非営利活動法人札幌市里親会 会報

ぽっぽら

vol.55

令和3年3月26日発行
発行　NPO 法人
札幌市里親会
編集　札幌市里親会
事務局
〒060-0007
札幌市中央区
北7条西26丁目
札幌市児童福祉
総合センター内
TEL　(011)622-8614
FAX　(011)622-8701
URL https://sal0oyakai.com/
印刷　メディアコーポレーション

〝児童は…〟の心に

NPO法人札幌市里親会 副理事長　稲生 義裕

思い起こせば50年近く前のことです。ある児童養護施設の川遊びに度々お邪魔するようになりました。園長は70歳を超えた体格のよい紳士でした。この方は当時20代前半の私にも、謙遜で全く対等の位置に御自身を置いて語り合って下さいます。「子どもの持つ可能性や湧き上がる活動性を喜びたい」「いや、それ以前に存在そのものを尊びたい」など、園長室での会話には、人に対する温かい心情と柔軟な思索が満ちていました。数年間、わたしは愉しい時を経験させて頂きましたが、1976年この方は天に旅立っていかれました。

「園長先生は、獅子文六の著した〝太陽先生〟のモデルなんだよ」と園職員から聞かされました。食糧難の時代に子どもの健康のために、子どもと一緒に日向ぼっこをした先生だと。この方は、児童憲章起草に携わった高島巌さんでした。

札幌市里親会が産声を上げた1951年、その同年に「児童憲章」が制定される。『われらは、日本国憲法（1947年施行）の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるために、この憲章を定める。児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んぜられる。児童は、よい環境の中で育てられる。』との力強い前文に続き、〝児童は〟を主語とする12箇条によって、権利主体である児童の幸福を追求する。

日本は、こうした貴重な理念財産を産み出しつつも、どうしたことでしょう。子どもを主語に据える児童福祉法の実現には、なお70年の時を要しました。

2016年児童福祉法改正を、心から歓迎する者の一人として、「この70年の空白」が何故であるのかを問うてみることが大事なことかと思わされます。おそらく、空白の原因が何かを突き止めることと、2016年改正児童福祉法の実を本気で求めるための条件作りの間には、深い関わりがありそうな気がするのです。

70年の歴史を刻む札幌市里親会は、昨年12月NPO法人となって再出発をいたしました。改正児童福祉法の実を生み出すためです。私はそのように考えています。里親の皆様、私どもは、喜びと困難の日々を重ねています。この中にあるからこそ、気づき生み出せる子どもの最大利益を目指して、ご一緒に歩んで参りましょう。

当里親会の事業は、一部北海道新聞社会福祉振興基金からの助成を受けて、実施しております。

里親支援専門相談員のご紹介

社会福祉法人北翔会　札幌乳児院
亀　勇一

児童養護施設柏葉荘での里親支援専門相談員として5年、令和2年4月より札幌乳児院に移り同相談員として活動しています。

新天地で、乳幼児の心身の発達や専門的関わり方、養育支援の基本を再確認しました。また、養育実習、特別養子縁組や里親宅への委託前の面接交流支援に立ち会うことができ、新たな発見と支援の重要性を感じました。

乳幼児から中高校生、いや措置延長の子どもたちと里親さんにふれあうことができ、貴重な体験ができたと思います。今後なお一層、日々の研鑽と喜ばれる相談支援活動ができるよう頑張って行きたいと考えています。よろしくお願いします。

社会福祉法人扶桑苑　児童養護施設
柏葉荘　阿部　菜那

自己紹介

今年度から里親支援専門相談員として西区、東区の里親さんを担当する事になりました、阿部と申します。よろしくお願いいたします。

児童養護施設柏葉荘に新卒で入り8年目となります。昨年度まで学童の女児（小学生～専門学生）を担当していました。時にはぶつかり、悩むこともありましたが、その経験1つ1つが子どもの成長に繋がると信じ、支援してきました。里親支援専門相談員として至らない所があると思いますが、同じ社会的養護の子どもたちを支援する一人として、少しでもお力になれるよう精進してまいります。今後もご指導の程よろしくお願いいたします。

公益財団法人鉄道弘済会　児童養護施設
札幌南藻園　中村　泉

昨年4月から、児童養護施設　札幌南藻園で里親支援専門相談員をさせていただいています、中村　泉と申します。

昨年3月児童指導員（小学生以上）と時々、保育士（幼児）をしながら11年間、児童養護の分野に関わってきました。漫画が大好きで今でも、園のこどもたちと漫画の交換をして新しい情報を更新中です。家には縁あって保護した猫4匹と入所児童が飼えなくなったクサ亀1匹と旦那がおります。次年度は「フットワークを軽く」を目標に、里親さんのお宅に訪問させていただければと思います。

社会福祉法人　札幌育児園
奥寺　光子

札幌育児園の奥寺光子と申します。最初は、子どもの豊かな育ちのために里親家族の支援が出来ればと考えていたのですが、現実は職業のようだけどプライベートな生活の中に子どもを迎え入れる里親家族の独特の難しさを実感し、家族の多様性とは？SWとは？真実告知とは？と前職の福祉専門学校の教員時代より悩み考える日々です。（「普通の生活」を送っていた時は、美術館や落語会に行ってリセットしていたのですが…）これからも子ども達の最善の利益のために、皆さんと一緒に悩み考えながら里子と里親家族をサポートしていきたいと思っていますので、どうぞご指導の程よろしくお願いいたします。

ファミリーホームを始めて

ファミリーホーム Point Ring
代表　南　貴代子

里親を始めて少ししてから複数の子供達と生活してみたい！と漠然と思いました。

子供と関わっていくうちに、この子は他にも同じ様な年齢の子が居たらどういう風に接するのかな？と半ば興味本位でもあったかもしれません。

やっと資格ができた時に少しずつ動き出そうと児相に相談することから始めました。しかし、そう簡単なものではなく…。

まずは住宅の条件で挫けそうになりましたが、運よくとても良い巡り合わせがあり大がかりな改修をする必要がない物件を借りることができました。

ファミリーホームを始めようと思う方はまず物件で躓くのではないかな？と思います。

その後は消防法、建物の用途変更、火災報知器の工事、シックハウス検査など今までに経験したことのない事柄に投げ出したくなりそうにもなりました。

児相に提出する書類も何が何だか分からず、ネットで調べてもなかなかヒットせず、そんな時に現在ファミリーホームをされている方に相談して前に進むことができました。

我が家は既に高校生男子2人がいる生活でしたがファミリーホーム開設後、直ぐに中3男子が来て、今では中高男子3人との暮らしです。

定時制と中学生とで起きる時間も食事時間も違い、未だにペースが掴めずバタバタしていますが、やはり、当初思っていた通り子供同士のかかわりがとても面白く、素っ気なく知らんふりすると思っていた1番上の子が意外にも優しく接する姿が微笑ましく嬉しかったです。

最初の頃のぎこちなさ、数日して少しずつ話し、更に日が経ってみんなでゲームをしたりスマホを見て何か話したり距離が縮まったり離れたり、そんな様子を見ているだけでも、この子達の居場所が出来て、思い切って開設して良かったなと思います。

これから先何もなくて平穏であって欲しいとは願っていますが、そうも行かないのが現実なのでしょうか？それでも私なりの信念をしっかり持ち、どんな子供が来ても今のようにみんなが笑って過ごせる環境作りをして行きたいなと思います。

子供たちから学ぶ事も多くありますので、自分自身もまだまだ成長できるのかな？と思えてやりがいは大きいです。

私がしてもらったように、これからファミリーホームをやりたい！と思っている方の少しでもお役に立てたらと思っています。

私が里親として経験したこと

白石区　T・O

私は昔から子どもが大好きで保育士になりました。

保育士として子ども達と一緒に過ごしていく中で、より深く子どもと関わりたいと思うようになりました。元々、里親には関心があり、札幌に引っ越してきた年に、里親促進フォーラムがあることを知り参加しました。その時に先輩里親さんから「里親は大変なこともあるけど、とっても楽しいよ」と教えていただきました。そして、その日のうちに里親になろう！という気持ちが高まり、すぐに里親登録をしました。当時はまだ働いていたこともあり、登録してから1年間は委託を受けずに過ごしました。その後、乳児院に3ヵ月通い当時2歳1ヵ月のRちゃんを委託されました。Rちゃんは元気な女の子でしたが、我が家に来てすぐに夜泣き・試し行動が始まりました。寝付くまでに1～2時間はかかり、やっと寝たと思ったら、2～3時間ごとに起きて泣きわめきました。そして「抱っこ」「ねんね」「かい～」「くすり」などを延々と繰り返し、泣きながら要求してきました。これが半年程続きました。だんだんと夜の試し行動は減っていきましたが、夜泣きはそれから2年間続きました。4歳になる前に、やっと朝まで1度も起きずに眠れるようになった時は本当に安堵しました。試し行動は夜だけでなく日中もありました。Rちゃん自身も色々な葛藤があるのは分かっていましたが、私にとっては自分も眠れないので、夜の方がつらく大変でした。そんな時、先輩里親さんやソーシャルワーカーの皆さんが「本当に頑張っているね」と温かく声をかけていただき本当に励みになり力になりました。今ではそんな事もあったね。と話せる思い出になりました。Rちゃんが我が家に来て半年後に、Rちゃんの実の妹で当時1歳7ヵ月のKちゃんを委託されました。Kちゃんは夜泣きもなく朝までぐっすり寝てくれていたので本当に助かりました。Kちゃんが寝ている姿を見て、安心して眠れることができるという大切さを改めて実感しました。今2人は、身の回りの事なども自分で出来るようになり、すっかりお姉さんに成長しました。今春からは幼稚園の年中さんと年少さんになります。家では姉妹というよりライバルで、毎日のようにケンカをしています。そして、委託当初はなかった実親との交流も始まり、面会・外出・外泊とステップアップしています。実親の元に帰れることは本来なら嬉しいことなのですが、私としては、やはりつらい別れになると思います。いつまで2人と一緒に過ごすことができるかは分かりませんが、その日がくるまで、子ども達と沢山笑って楽しい思い出を作っていこうと思っています。

任意団体札幌市里親会 2020（令和2）年度 第2回臨時総会の報告

事務局長　西野　恭一

2021（令和3）年2月18日午前10時から札幌市児童福祉総合センター（札幌市児童相談所）大会議室に於いて第2回臨時総会（一部書面表決）が開催されました。副会長稲生義裕の司会進行のもと、初めに会長加藤雅央より挨拶がありました。（挨拶文は別掲）その後、議案審議に先立ち、議長に副会長稲生義裕が選出されました。議長は、出席者15名、書面表決参加者51名、表決委任者71名、合計137名を確認し、本臨時総会の成立を宣言し順次議案を審議しました。第1号議案　2020年度事業報告の件、第2号議案　2020年度会計報告の件、第3号議案　任意団体札幌市里親会解散に関する件はそれぞれ全会一致で可決承認されました。第4号議案　本総会記録確定及び議事録署名に関する件は本臨時総会に於いて記録を確定し、議長のほか理事福場智子及び理事金田真季を議事録署名人とすることが全会一致で可決承認されました。全ての審議の終了後に副会長稲生義裕が本臨時総会の閉会を宣言し10時25分に散会しました。

特定非営利活動法人札幌市里親会 2020（令和2）年度 通常総会の報告

事務局長　西野　恭一

2021（令和3）年2月18日10時30分から札幌市児童福祉総合センター（札幌市児童相談所）大会議室に於いて通常総会（一部書面表決）が開催されました。副理事長稲生義裕の司会進行のもと、初めに札幌市児童相談所担当局長山本健晴よりご挨拶を賜りました。その後、議案審議に先立ち、定款27条に基づく議長選出を行い、副理事長稲生義裕が議長に選出されました。議長は、出席者15名、書面表決参加者50名、表決委任者72名、合計137名を確認し、本通常総会の成立を宣言し順次議案を審議しました。第1号議案　2020年度事業計画（案）の件、第2号議案　2020年度活動予算（案）の件はそれぞれ全会一致で可決承認されました。第3号議案　本総会記録確定及び議事録署名人選任に関する件は、本総会に於いて記録確定を三役（理事長、副理事長、事務局長）に一任し、本総会議長署名のほか理事上原美佳及び理事北川聡子を議事録署名人とすることが全会一致で可決承認されました。全ての審議の終了後に副理事長稲生義裕が本通常総会の閉会を宣言し10時55分に散会しました。

任意団体札幌市里親会 解散総会の挨拶

会長　加藤　雅央

本日はお忙しい中、任意団体札幌市里親会の解散総会にご出席くださり、誠にありがとうございます。札幌市里親会は、1951年に任意団体として設立されて以来、70年に亘ってその時代の情勢に合わせながら里親並びに里子の支援活動に尽力して参りました。

しかし、平成28年度の児童福祉法の改正に伴い、「家庭養育優先の原則」が明確に打ち出されたことにより、里親をめぐる環境は大きく変化して参りました。これからの社会的養護を担う存在として、益々里親に対する期待が大きくなっている時代を迎えております。その時代の潮流に対応すべく、札幌市里親会も大きく変革していく必要に迫られることになりました。

私たち札幌市里親会は、この時代の要求に応えるために、社会的に認められた法人となり、これまで以上に里親と里子に寄り添った支援を提供し、児童相談所や他の支援組織とも連携を深めながら、里親と里子の「最善の利益の実現」のために有益な活動を展開できる組織へとバージョンアップすることとなりました。

皆様もすでにご存じの通り札幌市里親会は、NPO法人としての新たなる出発を始めました。それに伴い、任意団体である札幌市里親会を解散したいと思い、本日、解散総会開催の運びとなりました。今まで、様々なご苦労をされながら今日の札幌市里親会へと育ててくださいました、先人の里親の皆様方並びに児童相談所の職員の皆様方への感謝を忘れることなく、新たなる一歩を踏み出して参りたいと思います。

これからも、当事者意識を有する唯一の組織として、里親の皆様方と共に全員参加型で、新生札幌市里親会を更に里親や里子にとって頼りになる組織へと育てて参りたいと思っておりますので、今後とも皆様方のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

解散総会の開会にあたりまして、一言ご挨拶させて戴きました。

2021年2月18日

2020（令和２）年度札幌市里親会一般会計収支決算書

2020（令和２）年４月１日～12月31日

収入の内訳（単位　円）

科目	予算額（A）	決算額（B）	比較増減（B－A）	摘要
繰越金	1,186,898	1,186,898	0	前年度から繰越
会費	1,350,000	1,311,500	－38,500	正会員947,500　賛助会364,000（団体219,000　個人145,000）
運営協力金	3,500,000	2,019,000	－1,481,000	2019（令和元）年分42,000　2020（令和２）年前期1,977,000
補助金	338,000	338,560	560	2019（令和元）年度里親個人賠償責任保険料補助金（札幌市より）
助成金	480,000	220,000	－260,000	全国里親会（里親リクルート助成事業）30,000　札幌市共同募金会（ぽぷら）90,000 北海道新聞社会福祉振興基金100,000
寄付金	1,000,000	1,374,271	374,271	一般寄付金732,271（団体84,271　個人648,000） 北海道共同募金会（用途指定・お年玉214人）642,000
受託費	959,200	523,003	－436,197	2019（令和元）年度養育里親相互援助事業134,953　2019（令和元）年度里親制度普及啓発事業294,300 2020（令和２）年度里親委託家庭訪問事業委託費39,930　メンター保険立替分53,820
回収金	0	0	0	
雑収入	12	21,411	21,399	預金利息11　2020（令和２）年度総会開催中止による会場使用料払戻金21,400
参加費収入	950,000	0	－950,000	宿泊交流会中止により0
法定福利費戻入	3,690	2,720	－970	被雇用者負担分労働保険料（事務員１名）
前払費用戻入	33,400	33,400	0	フォーラム開催中止による会場使用料払戻金
特別会計繰入	0	6,384,516	6,384,516	
計	9,801,200	13,415,279	3,614,079	

支出の内訳（単位　円）

科目	予算額（A）	決算額（B）	比較増減（B－A）	摘要
事務費	3,450,000	2,184,134	－1,265,866	
需用費	2,750,000	1,512,721	－1,237,279	事務用品183,615　事務手当（事務局1名）1,013,450　交通費230,800　特別手当（事務員賞与）70,000 職務手当（会長・副会長）0　法定福利費14,856
通信運搬費	390,000	371,571	－18,429	郵送料273,774　払込料金・振込手数料16,774　携帯22,223　インターネット通信料58,800
借上料	290,000	290,757	757	2019（令和元）年度分　（火災保険料管理費135,047　光熱水費155,710）
雑費	20,000	9,085	－10,915	赤い羽根街頭募金協力者茶菓代　住民票発行手数料　その他
事業費	4,963,000	1,642,828	－3,320,172	
総務費	78,400	6,700	－71,700	臨時総会資料印刷代5,200　購読料1,500
研修・活動費	2,836,200	771,185	－2,065,015	全国里親会分担金635,000　全国里親研修大会中止により0　（旅費補助、参加料） 部外交流5,000（共同募金会　ピンバッジ購入）サロン活動35,439（Zoom 機器代） 全道里親研修大会中止により0　（旅費補助、参加料）　札幌市社会福祉協議会会費2,000 メンター事業93,746（メンター保険料立替分53,820、メンター謝礼39,926） 宿泊 X'mas 交流会中止により0
広報啓発費	870,000	201,540	－668,460	機関紙発行（夏号）153,360　ホームページ経費13,227　普及啓発事業（里親フェスタ開催）34,953
援護費	1,070,000	574,000	－496,000	入進学祝金360,000（小・中・高36名×10,000） 委託児童 X'mas プレゼント214,000（図書カード1,000×214枚）
顕彰費	65,000	77,909	12,909	会長表彰記念70,000（14名×5,000）　賞状他7,909
弔慰費	10,000	11,494	1,494	弔慰（香典、弔電レタックスほか）
前払費用	33,400	0	－33,400	
拠出金	100,000	0	－100,000	全道大会準備金
予備費（繰越金）	1,288,200	9,588,317	8,300,117	2020（令和２）年度 NPO 法人へ繰り越し　普通預金残高9,581,277　現金残高7,040　注１）
計	9,801,200	13,415,279	3,614,079	

注１）2020年8月20日札幌市里親会第１回臨時総会において第２号議案（1）任意団体札幌市里親会の寄付に関する件を承認したので、予備費（繰越金）は2021年１月に全額NPO法人札幌市里親会に寄付する。

2020（令和２）年度特別事業基金決算書

2020（令和２）年４月１日～12月31日

収入の内訳（単位　円）

科目	決算額	摘要
繰越金	6,384,138	2019（H31）年度から繰越
利息	378	
一般会計より繰入	0	2020（令和２）年度　繰入金
寄付金	0	
計	6,384,516	

支出の内訳（単位　円）

科目	決算額	摘要
生活援助金	0	
一般会計へ繰入	6,384,516	法人設立準備のため一般会計へ振替
次期繰越金	0	
計	6,384,516	

2021.2.18　臨時総会・通常総会

北海道善行賞（優良里親）表彰の受賞

北川　聡子

この度北海道善行賞という素晴らしい賞を頂戴し大変光栄に思います。

月日は早いもので里親になって18年、初めて委託された3歳だった子ども二人が22歳になりました。発達に心配のある子だったのでこれまでいろんなことがありましたが、児童相談所、児童精神科医、学校の先生、児童発達支援センターの職員、里親仲間などたくさんの人に支えられてここまで続けてくることが出来ました。

そして振り返ってみると、反対に子どもたちからたくさんいろいろなことを教えてもらったことが多くあったと思います。

これからも家庭養護という普通の暮らしの中で、子どもたちの最善の利益が守られる楽しい日々を送れたらと思っています。

ありがとうございました。

古家　好恵

この度、里親として北海道より善行賞をいただきました。

これは里親さんたちとつながって子どもを育ててきたこと、また、里親専門員の皆様、児相、区役所、病院、警察等の応援あってのことと感謝しております。

今は直接養育していませんが、里親さんと共に、子どもたちが「自分ってこのままで素敵なんだ」と胸を張れるように微力ながら尽力していく所存ですのでよろしくお願いします。

北川　　古家

天神山だより

澤田　展人

平岸の天神山近辺で里親をしている澤田です。もの心がついた年齢になってからの子どもさんを預かっているので、家では「お父さん」ではなく「おじさん」と呼ばれています。

教員の仕事を退職してから里親になり六年近くがすぎました。家では炊事、買い物、洗濯物関係などをやって、そこそこ主夫の役目をしています。

里親の日常で起きたことを随筆風に書いてみます。今回はわが家から巣立っていったYちゃんのこと。高校生のときわが家に来たYちゃんは製菓の専門学校を卒業した後、部屋を借りて独り立ちしました。

お菓子づくりの会社に就職して半年後、Yちゃんが辞めてしまったと風の噂で聞いて私たち夫婦はびっくり。辛い、苦しいとは一言も漏らしていなかったのです。本人に聞いて、会社での過酷な状況をかなり我慢した上での、やむをえない決断だったとわかりました。

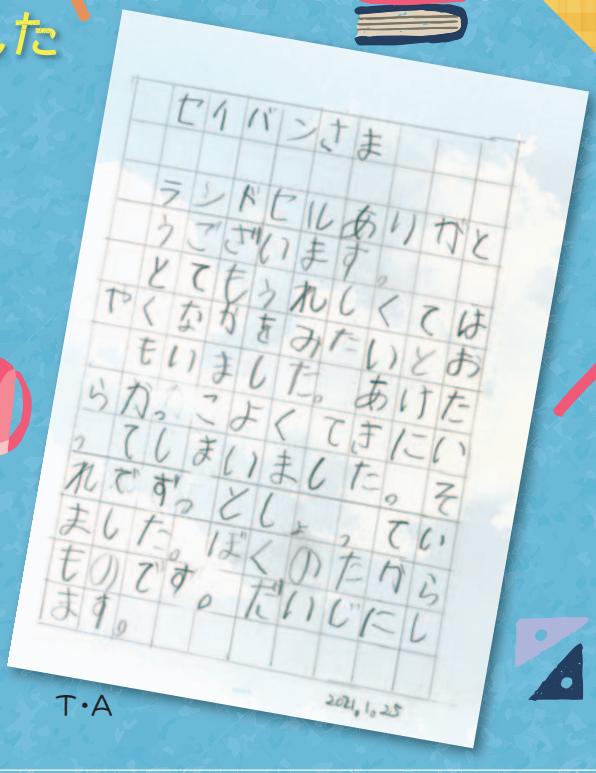
私たちは、Yちゃんが落ち込んで立ち直れなくなることを心配したのですが、充電期間を経て、大手デパート内のカフェでの仕事を自分で見つけてきました。今度は店の人からも信頼され、簡単な調理も含め店の切り盛りを任せられるようになりました。

驚いたことに、彼氏ができて、正月にわが家に連れてきました。実直で優しそうな青年で、Yちゃんと同様に、不遇な青春期を送った経験があると聞きました。二人は一年ほど交際をした後、昨年暮れに結婚しました。

とても若い夫婦ですが、二人とも真面目に働き、なによりいいことはまだ一回もケンカをしていないことです。二人は私たちの近所のアパートに越して来て、ときどき顔を出してくれます。二人の夢はお金をしっかり貯めて、自分たちの家をもつことです。二人の将来に大いなるエールを送っています。

㈱セイバン様より ランドセルの寄贈を賜りました

H・N



T・A

令和元年度の主な事業報告（２月末までの主な事業）

- 4月20日　札幌市里親会書面総会　各種議案を可決承認
- 6月4日　新理事との打合せ会議
- 8月20日　札幌市里親会第1回臨時総会　NPO法人設立を可決承認
- 7月22・25日　新規里親登録研修に於ける里親会説明会
- 9月30日　フォスタリング機関設置に関する緊急アンケート実施
- 10月7日　赤い羽根街頭募金活動　参加者4名
- 10月11日　「里親フェスタ」開催　札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）
- 10月29日・11月12日　里親〝なんでも〟説明会　協力里親各2名
- 11月19日　厚生労働大臣表彰（佐藤きくよ里親）
- 北海道善行賞（優良里親）表彰（北川聡子里親、古家好恵里親）
- 12月14日　社会的養護自立支援事業説明会
- 12月25日　里子にクリスマスプレゼント（図書券）
- 1月12日　セイバン㈱から新1年生にランドセル7人分の寄贈を受ける
- 1月17日　新規里親登録研修に於ける里親会説明会
- 1月28日　札幌市児童相談所との連絡会議　児相6名　里親会6名出席
- 1月29日　全サロン合同企画研修
  講師：札幌市児童相談所里親担当
  山本美里氏「里親と児童相談所」
- 2月18日　札幌市里親会第2回臨時総会（解散総会）
- 特定非営利活動法人札幌市里親会通常総会（設立総会）

定期的に開催している会議

事務局会議　毎月第2木曜日
理事会　毎月第3木曜日

里親養育相互援助事業（サロン活動）※コロナ禍で上半期は中止しました。

おしゃべり会　毎月第1月曜日
ぽぷら会　偶数月第1木曜日
すみれ会　偶数月第4木曜日
スマイル会　奇数月第1火曜日

ご協力ありがとうございました

令和三年三月一日現在

支援者ご芳名

敬称略・順不同

【寄付者　個人】

渡辺宏・恵美子、永山恵子、長土居幸彦、西條恭子、吉岡知子、本田千恵、守屋勇、仲野勝廣、後藤正憲、竹田智一、カトリック教会ご関係の方（匿名）

【寄付者　団体】

㈱ボックス

【賛助会員　個人】

伊賀敬行、金野則義、新家憲、斉藤岩雄、丹羽信博、津田美雪、高瀬幸夫、鎌田忠雄、出口福子、中谷文江、木村初江、愛甲哲也・知佐子、平元冨美能、玉木慎一、古賀恭子、古澤順子、村上伊久美、花木大輔（みどり整骨院）、高橋雅子、東谷あけみ、阿野タマ子、土渕美知子、小田切亮、佐々木正樹、鈴木治、正岡俊文、出倉美紀子

【賛助会員　団体】

札幌みらい中央青果㈱、青柳㈱
〈民生委員児童委員協議会〉
〔西区〕八軒中央地区

【協力者】

㈱松寿園、福住珈琲焙煎店

札幌市里親会は「赤い羽根共同募金」の支援を一部受けて運営しています。

編集後記

令和2年は、新型コロナで振り回された1年間でした。まだまだ寒い日が続きますが、今回の会報が皆様のお手許に届く頃には春の便りが届きはじめた頃だと思います。

令和3年は新型コロナへのワクチン接種や東京オリンピックも予定されており明るい年となる事を願っています。